

(7) 海色衛星観測データを用いた埋立地周辺を含む大阪湾における赤潮動態の解明

予算

大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成

概要

大阪湾において発生する広範囲かつ時間変化の激しい赤潮動態を、近年新しく公表された時間・空間分解能の高い衛星海色データを用いて解析する手法の開発を目的とした。本年度は各波長におけるリモートセンシング反射率 (Rrs) を用いて衛星クロロフィルa (Chl. a) の最適化を行うとともに、人工衛星から得られる水温場、塩分場、光学特性とChl. a分布を比較し、埋め立て地周辺も含めた大阪湾における赤潮の消長メカニズムについて求めた。研究代表者は京都大学フィールド科学教育研究センター、小林志保助教、共同研究機関は当研究所を含む4機関である。当研究所は現場での採水Chl. aデータや測器による蛍光強度データの取得と赤潮発生 of 把握を担当した。

担当者

山本圭吾、上田真由美、田中咲絵